

ホホバ

頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

蝉しぐれ降り注ぐ、夏の盛りとなりましたが、月のはじめの蝉しぐれも、八月半ばを過ぎるとひぐらしの声に涼味を覚えはじめます。今回は、過ぎ行く夏にちなんで、夏の風物詩についてご紹介して参ります。

「夏」の風物詩と

言えば、浮かぶのは

「夏」といえば、まず浮かぶものはないでしょうか？

ここ数年、毎年のように猛暑・酷暑などの言葉が聞かれる事が増えて、夏⇨辛い季節、といったイメージがあります。

しかし、夏は、暑い中で食べるかき氷やスイカの美味しさ、涼しげな



風鈴の音、花火や夏祭り等、夏にしか楽しめない夏の風物詩を満喫できるチャンスでもあります。夏の風物詩を再確認して、夏を楽しんでみてはいかがでしょうか。

四季折々の

日本の夏を楽しむ

暑さに食欲も落ち、夜も寝苦しくて寝不足気味、という方も多い

夏の外出は 早朝か夕方以降に

はです。

この時季ですが、今の季節ならではの楽しみに目を向けて、乗り切りましょう。早朝の散歩で朝顔を楽しみ、風鈴の音を聞きながらウトウトお昼寝したり、お昼は冷たいそうめんや夏野菜の天ぷら。

土用の丑の日にはうなぎで精をつけて、夏祭りや花火を楽しむのも、夏ならではです。

八月の暑さは、日中は危険なレベルですから、外出は早朝から午前中、又は日が落ちてからにしましょう。

急な夕立に備え、折り畳み傘をバッグに入れておきましょう。

意外に知らなかった夏の風物詩

夏の風物詩、といえば色々と浮かんで来ますが、意外に良く知らない、詳しくはわからない、という事が多いもの。

毎年、夏になると誰もが見聞きし経験する、日本の夏の風物詩も、改めて知ると、また違った趣があります。

◆蝉の命は一週間？

実は意外に長生き

夏に、公園や緑の多い場所を歩くと、蝉の鳴き声を聞くことも多いものですが、木立ちの中などで、大量に降り注ぐ「蝉時雨」は、まさに夏の風物詩。

外国の人には騒音にしか聞こえない蝉の声を、時雨になぞらえて風流

な風物詩とする、日本ならではの夏の楽しみですね。

よく、地上に出て一週間で死んでしまう、といわれる蝉ですが、実際の寿命は、地中で三〜十七年、地上に出てから約一か月程あります。

◆日本の花火は

世界的な芸術

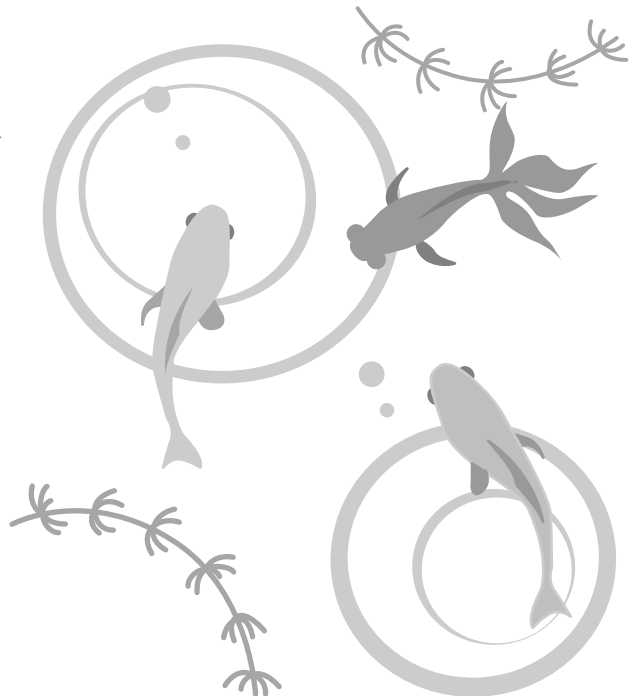
夏の夜空に響く花火の音と歓声。

夜空に瞬く花火の美しさは、夏の楽しみのひとつです。

花火自体は世界各国にあります、その中でも日本の花火は緻密で美しい「芸術」と世界でも認められ、高い評価を受けています。

熟練の花火師は海外で尊敬を集め、依頼が殺到しているといえます。

世界の様々な国で日本の花火が喜ばれているのは嬉しいですね。



おしえてホホバ君!



お肌にも体にも良いと
言われるアロエ。
何がそんなに良いの?

アロエには様々な効能
があり、昔から愛され続
けていますが、使用法に
はお肌用と食用の二種類
に其々効能があります。

よく使われるアロエの
特徴をご紹介します
すると・・・



【アロエベラ】

肌の新陳代謝や
血行促進、消炎、
保湿、殺菌等の
作用。他にも薬効多数。
アロエローションは
このアロエベラが原料。
苦みが少なく食用にも。

【キダチアロエ】

日本で昔から「医者いらず」
といわれ、傷や火傷の外用
薬として使われてきた。
胃腸薬、便秘薬などの生薬
としても。
苦みが強く、葉も薄いので
食用には向かない。

夏に欠かせないイベント、盆踊り
は、元々、お盆に先祖の霊をもてな
し、一緒に過ごして送り出すための
行事でした。
仏教の念仏踊りから始まったとい
われ、現代では
15日に踊って
16日に送り



◆浴衣で盆踊りは
先祖をもてなす為?

出すのが一般的。

盆踊りに

欠かせない

浴衣は、元々

湯上り用の部屋着

が、夕涼みやご近所

位なら大丈夫となり、徐々に夕方な

ら、お祭りや花火大会なら、と外に

も着ていける様になって行きました。

今では浴衣を着ていると○○など、

浴衣特典をつける店もある様で、夏



のお洒落のひとつと
なっています。

◆アスファルトに
打ち水は逆効果?

夏の朝、朝顔に水をやり、家の前
の通りに打ち水をする光景は、今で
はなかなか見えない光景となりました。
実は、土の地面が減り、今のアス
ファルトの道では打ち水すると却っ
て蒸し暑くなってしまうそうです。

